



未来研 並木一寅 議員

ジャンボタニシについて

問 市長が県議会議員時代に、ジャンボタニシについて何度か質問していますが、県の農林水産部長の答弁を聞き、どのような感触を得ましたか。

答 市長 ジャンボタニシによる水田の被害対策は大きな課題であり、県議会議員在職中に、ジャンボタニシの防除対策について質問をし、県内の発生状況や被害状況をきちんと把握し、地域ぐるみで防除対策が図られるよう県が中心となり、関係機関などへ働きかけるよう要望していました。今年度から、市内で防除対策モデル事業を実施することとなりました。今後も被害対策の支援や、補助事業について、要望していきます。

問 今後の対応策についてお聞きします。

答 経済環境部長 県のモデル事業が実施されており、山武中央土地改

良区で、産卵の時期に小排水路の卵を水中に払い落とし、小排水路約1・6kmにわたりきれいにしていくこと、また、冬の寒い時期に水路の泥上げを行い、貝の破碎もしくは寒気にさらす等の作業を、貝の密度を低下させることを目的に実施します。今後検証結果を踏まえ、県と共に水稻被害の軽減に向け水稻農家と相談しながら、効果的な対策等を検討します。

問 地域・地区と融合した水路対策等の考えはありますか。

答 経済環境部長 今後地域の皆さんで防除対策に取り組んでいただくことも必要なことかと考えますが、県・関係団体と連携をした支援を進めていきます。

問 水路における効果的な防除技術の開発、登録薬剤の安価な供給に向けた大型企画の設定等、流通の合理化及び規制薬剤の開発に対する薬剤メーカーへの働きかけ等、市が先頭に立ち国、県に意見書、要望書などを提出しはどうか。

答 市長 意見書・要望書に関して、県議会の中でも同調してくれる方が大勢いますので、市でしっかり県に上げていくことが大事であると考えます。

まつおこども園について

問 平成31年で、まつおこども園

が現豊岡小学校に引越しをすることは、間違いありませんか。

答 保健福祉部長 まつおこども園について、現豊岡小学校への移転・整備事業として、平成29年度に既存校舎改修のための基本設計を完了し、30年度は実施設計、31年度は改修工事を行う予定とし、32年4月の開園に向け進めています。

問 豊岡小学校をまつおこども園にするにあたり、小学校の改修はどのような改修を考えていますか。

答 保健福祉部長 施設改修については、できる限り毎日の保育を1階で行えるように考えており、校舎1階の主な改修では、校庭側の教室を、各年齢別の保育室に、奥の部屋を自園給食実施のための調理室に改修します。トイレは、校舎1階の児童用トイレを幼児用のものに交換し、校舎1階には両端にしかトイレがないため、校舎中央の保育室付近に、新たにトイレを増設する予定です。

問 今ある校庭の半分位を、駐車場にする考えはありますか。

答 保健福祉部長 正門側を保護者等の駐車場とし、奥を園庭として整備していきたいと考えます。

問 送迎する保護者の車は今と同じく豊岡農協の脇の細い道を通り、狭い道路を行き来することになりますか。

答 保健福祉部長 都市建設部と協議し、改善する予定です。

問 周辺地域との話し合いを持ち、バイパスを通す予定はありますか。

答 都市建設部長 新たなバイパス道路が必要と考えます。豊岡地区の協力を得ながら検討を進め、整備延長の短い豊岡小西側に、安全で利便性の高いバイパスを通す予定で検討しています。また、地区の皆さんと話し合いを行い、現況測量の発注準備を進めています。

問 地域の避難場所にも指定されている場所です。子どもの安心・安全を守り、特に水害時、木戸川の氾濫等が考えられる場所もありますが、インフラ整備の予定はありますか。

答 都市建設部長 木戸川流域については、県に要望活動を行っているところですが、市が管理する道路では、JA山武郡市豊岡支所の南側に位置し、空港関連道路の主要地方道成田松尾線へ通じる市道豊岡115号線の金尾二号橋付近が県道と同様に冠水することがあるため、道路冠水の解消と豊岡地区における災害時の主要道路として、その構築に向け、本年度路線測量を予定しています。

